

授業科目 英語 I

【担当教員名】 山田 栄	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健康・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎		○

【一般目標：G10】
英語のテキストを読むだけでなく、様々な言語活動を通じて基礎的英語力を多角的に補強し、実践的なコミュニケーション能力を育成する。テキストは健康に関する話題を取り扱う。種々の演習や言語活動を通して、情報を読み取る読解力、基本的な語彙の習得、話す・聞くの基本的な運用能力、英語使用に対する忌避感の払拭等を考慮して学習する。また、学習を通して、自らのQOLに対する関心を高めることも目的とする。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. QOL 関連の内容が書かれた文章を、英語のチャンク通りに理解することができる。
 2. 自分に興味のあるテーマについて、まとまった英文を作成することができる。
 3. 学習した内容を自らの専門分野での学習に役立てようとする意欲を持つ。
 4. 自らのQOL を高めることに関心を持つ。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、グループ分け、自己紹介		講義、演習
2	ユニット1、エッセイ (1)		講義、演習
3	ユニット1、エッセイ (1)		講義、演習
4	ユニット1、エッセイ (1)		講義、演習
5	ユニット2、エッセイ (1)		講義、演習
6	ユニット2、エッセイ (1)		講義、演習
7	ユニット2、エッセイ (1)		講義、演習
8	ユニット3、エッセイ (2)		講義、演習
9	ユニット3、エッセイ (2)		講義、演習
10	ユニット3、エッセイ (2)		講義、演習
11	ユニット4、エッセイ (2)		講義、演習
12	ユニット4、エッセイ (2)		講義、演習
13	ユニット5、エッセイ (2)		講義、演習
14	ユニット5、エッセイ (2)		講義、演習
15	確認テスト (使用テキストから出題)		演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	How to Stay Healthy		Oxford University Press	2011・715 円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、エッセイ、確認テスト等による授業内での評価に、共通テストの評点も成績に加える。	【履修上の留意点】 グループ活動がメインとなりますので、メンバーと積極的にコミュニケーションを取る姿勢が求められます。
--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------